



「全国学力・学習状況調査」の結果と分析をお伝えします。

4月に6年生が受検した「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果が届きましたので、本校の傾向と課題、今後に向けた取組等についてお知らせします。

令和7年度全国学力・学習状況調査 早わかり Q&A

Q:調査の目的は何？

A:児童への教育指導の充実のため、学習状況の改善等に役立てるため です。

※ 国が平成19年度から6年生を対象に実施している調査です。

Q:今年度の実施期日は？

A:令和7年4月17日に「教科調査」、4月21日に「児童質問紙による調査」を、それぞれ行いました。

Q:調査内容は何？

A:「教科調査」と「児童質問紙による調査」です。今年度の教科調査は、例年の国語と算数に加えて、理科も実施されました。

Q:教科調査は、どのような内容？

A:小学校5年生までに学習した内容です。

「基礎的な知識・技能等」、「知識・技能を実生活の場面に活用する力」、「課題解決のための構想を立てて実践し評価・改善する力等」に関わる内容です。

Q:問題形式は？

A:選択式、短答式、記述式の3種類です。記述式は、複数の考え方、答え方があるものについて出題しています。

1 教科調査（国語・算数・理科）では、このような力がついているか問われました。



国 語

- ① 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる力。
- ② 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、図表を用いるなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力。
- ③ 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見つける力。

算 数

- ① 日常の事象について、目的に応じて表やグラフからデータの特徴や傾向を捉え考察する力。
- ② 図形を構成する要素とその関係に着目し、図形の性質や図形の構成の仕方、図形の計量について考察する力。
- ③ 数の表し方や構成する単位に着目し、小数や分数の計算の仕方について統合的・発展的に考察する力。
- ④ 日常生活の問題を解決するために、伴って変わる二つの数量を見いだし、それらの関係について考察する力。

理 科

- ① 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、解決するための実験の方法を発想したり、結果を基に考察したりしながら、問題を解決する力。
- ② 自然の性質や規則性を適用したものづくりについて、学習したことを活用したり、解決の方法を発想したりしながら、問題を解決する力。
- ③ 花のつくりや受粉についての理解や、発芽の条件について解決の方法を発想しながら問題を解決する力。

2 教科調査（国語・算数・理科）における本校の傾向と今後の取り組み

国 語 県及び全国の平均を4%程度上回る結果となりました。

問題別にみると、「話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる」に関する問題がやや不得手でした。考えの相違点や共通点について整理することが難しかったようです。

そこで、今後も……

- ☞ 対話的に学ぶ場面を設定し、互いの考えの共通点や相違点について整理しながら思考を深めることを目指して、引き続き研修や授業改善を行います。

算 数 県及び全国の平均を8～10%程度上回る結果となりました。

問題別にみると、目的に応じて適切なグラフを選択することをやや苦手とし、問題の中に2つ質問があった場合に1つしか答えない児童がやや多いことがわかりました。

そこで、今後も……

- ☞ 問題をよく読むように気を付けること、算数だけでなく他教科においても、「目的を意識して、複数の資料の中から必要なものを選ぶ」課題を多く取り入れられるよう、授業改善を行います。

理 科 県及び全国の平均を6～7%程度上回る結果となりました。

問題別にみると、「解決するための実験の方法が適切であったかを検討し、表現すること」に関する問題を苦手としていました。また、記述式の問題に関しては、やや無回答が多かったです。

そこで、今後も……

- ☞ 児童が主体的に問題を解決するための「計画を立てる」過程を大切にし、その観察・実験方法が適切なのか話し合う場面も設定することを目指して、授業改善を行います。また、穴埋めばかりでなく、記述式で自分の考えを表現する機会の確保を目指します。



3 「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」における本校の傾向と今後の取り組み

○全国と比較して特徴の見られるもの

よい傾向であると思われる項目については○、課題があると思われる項目については▼で示しています。

質 問 項 目	評価
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	○
人が困っているときは、進んで助けていますか。	○
困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	○
友達関係に満足していますか。	○
読書は好きですか。	○
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	○
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	○
自分には、よいところがあると思いますか。	▼
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか （学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	▼

○本校の傾向と今後の取り組み

全国と比較して大変良好でした。子供たちが、5年間で培った自信を胸に「理想の6年生」を体現している姿が浮かんできました。2学期以降の学校行事や学年行事、日頃の学校生活における活躍が楽しみです。今後は、来年の中学校生活もイメージさせながら、指導していきます。

4 結びに

本校では、子供にとって「楽しい学校」となるように、「心の居場所のある学級」で、「学ぶ喜びを実感できる授業」を展開することを第一としています。そのために、教師は児童の成長を促す言葉かけを意図的に行いつつ、行事等を通した「集団の成長」と、授業や係・当番活動を通した「個の成長」の相互作用を意識した指導を行っています。今後も、日々の積み重ねの中で児童がよりよく成長できるよう努めていきます。